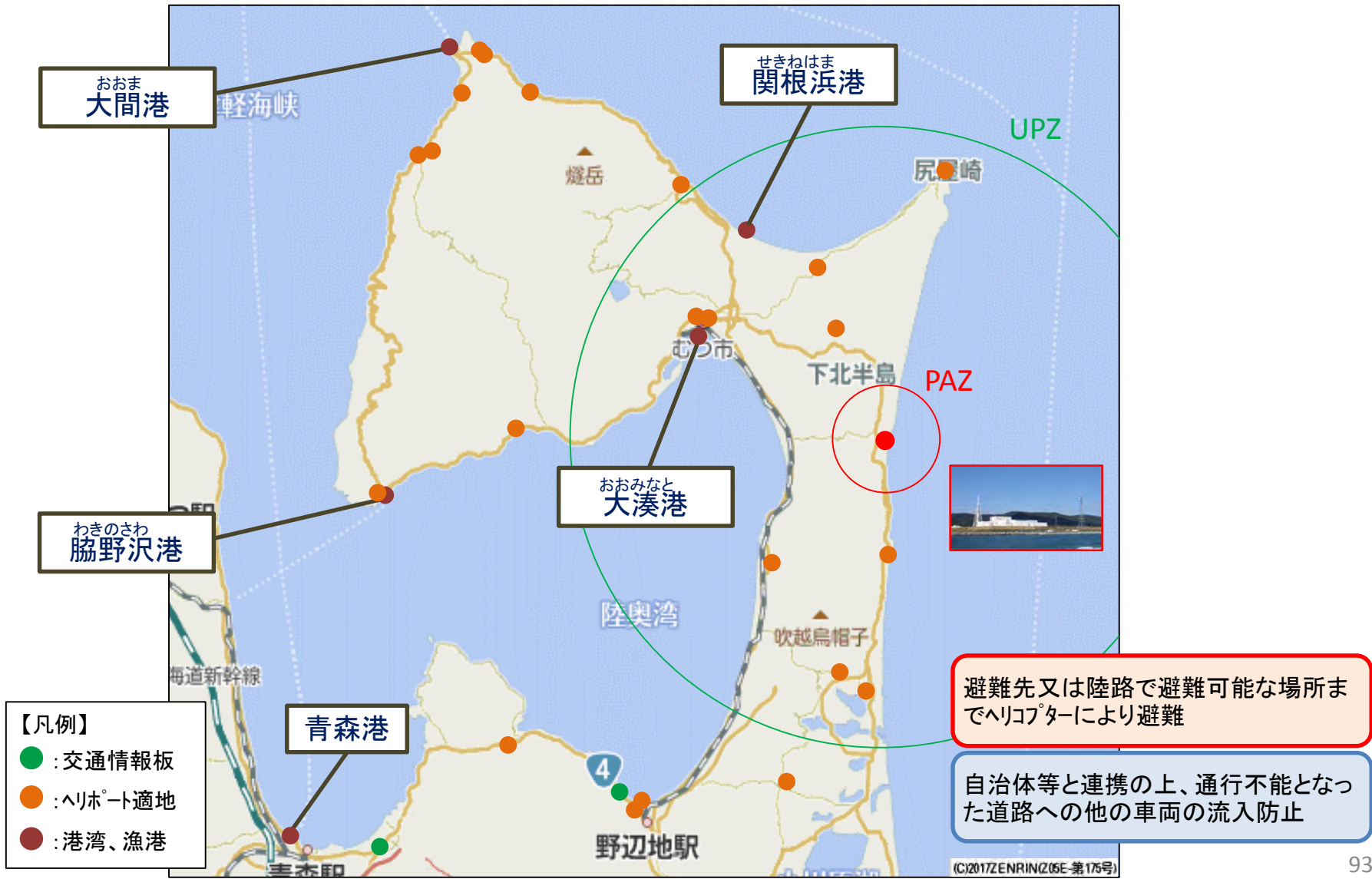


➤ 自然災害等により、避難経路等を使用した車両等による避難ができない場合は、青森県及び関係市町村からの要請により、実動組織（警察、消防、海保庁、自衛隊）による各種支援を必要に応じて実施。【P】



- 青森県と関係市町村との調整を踏まえ、必要に応じ広域応援を実施。

警察組織

- ✓ 現地派遣要員の輸送車両の先導
- ✓ 避難住民の誘導・交通規制
- ✓ 避難指示の伝達
- ✓ 避難指示区域への立ち入り制限等



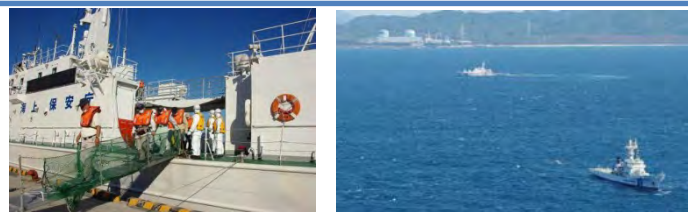
消防組織

- ✓ 避難行動要支援者の搬送の支援
- ✓ 傷病者の搬送
- ✓ 避難指示の伝達



海上保安庁

- ✓ 巡視船艇による住民避難の支援
- ✓ 緊急時モニタリング支援
- ✓ 漁船等への避難指示の伝達
- ✓ 海上における警戒活動



防衛省

- ✓ 緊急時モニタリング支援
- ✓ 被害状況の把握
- ✓ 避難の援助
- ✓ 人員及び物資の緊急輸送
- ✓ 緊急時の避難退域時検査及び簡易除染
- ✓ 人命救助のための通行不能道路の啓開作業



東通地域の緊急時対応作成に当たっての主な課題

- PAZにおける対応体制（初動の体制）
- 住民への情報伝達体制（相談窓口、観光客対策を含む）
- 避難行動要支援者の対策
 - ・ 避難行動要支援者名簿の作成（UPZ）及び支援者の確保
 - ・ 避難手段の確認とその確保
 - ・ 避難先における要支援者の福祉避難所等への振り分け
 - ・ 医療機関・福祉施設の避難先確保
- バスにより避難する住民の把握、避難所開設要員の確保
- 複数の避難経路の設定
- 代替避難先調整の仕組み
- 冬季における防護措置（避難道路の除雪体制）
- 放射線防護資機材、生活物資・燃料の備蓄・供給体制
- 緊急時モニタリング地点及び防護措置実施判断区域の精査
- 安定ヨウ素剤の緊急配布体制
- 避難退域時検査場所候補地の精査、運営体制、資機材・要員の確保
- 原子力災害医療体制の整備

東通地域の今後のスケジュール（案）

青森県・関係市町村	国
<u>平成 27 年度</u>	<u>平成 27 年度</u>
3 月 23 日 「広域避難の基本的な考え方」 取りまとめ	6 月 3 日 第 1 回東通地域作業部会 12 月 22 日 第 2 回東通地域作業部会
<u>平成 28 年度</u>	<u>平成 28 年度</u>
7 月 21 日 東通村避難計画改定	
11 月 22 日 六ヶ所村避難計画改定	
3 月 XX 日 むつ市避難計画改定	2 月 15 日 第 3 回東通地域作業部会
3 月 XX 日 横浜町避難計画改定	・東通地域の緊急時対応（全体版：案）の提示
<u>平成 29 年度</u>	<u>平成 29 年度</u>
X 月頃 東通村避難行動要支援者の 個別調査取りまとめ	4 月以降 東通地域作業部会（課題の進 捗に応じて複数回開催）
10 月頃 青森県原子力防災訓練	・各課題の対応策・解決策の検討・ 確認
2 月頃 青森県防災対策強化検討委員 会最終取りまとめ	
年度末頃 関係市町村避難計画改定 モニタリングポスト設置完了	
青森県地域防災計画 （原子力編）改定	
<u>平成 30 年度</u>	<u>平成 30 年度</u>
	6 月頃 東通地域作業部会
	・「東通地域の緊急時対応（案）」担当者 間セット
	（関係省庁との調整）
	夏頃 東通地域作業部会
	・「東通地域の緊急時対応（案）」作業 部会セット
	東通地域原子力防災協議会
	原子力防災会議